

DNP

株主通信

DNP Report vol.74

(証券コード：7912)

第119期 決算のご報告

平成24年4月1日～平成25年3月31日





代表取締役社長

北島義俊

株主の皆様には、ますますご清栄のことと心よりお慶び申し上げます。また日頃は格別のご支援を賜り、誠にありがとうございます。

❖ 第119期の業績について

第119期(平成24年4月1日～平成25年3月31日)の日本経済は、東日本大震災の復興需要などもあり持ち直しの動きが見られましたが、欧州の財政危機や新興国の景気減速などの影響から引き続き厳しい状況にありました。印刷業界においても、インターネット広告の増加など、メディアを取り巻く環境に変化が見られたものの、全般的に需要は伸び悩み、厳しい経営環境が続きました。

その中で私たちDNPは、エレクトロニクス部門の2事業部を昨年6月に、10月には情報コミュニケーション部門の3事業部を統合するなどの事業構造改革に取り組みました。また、生活者の視点やソーシャルな視点に立って、解決すべき課題をいち早く発見していく取り組みや、事業創造型の研究開発などにも注力しました。8月には日本ユニシス株式会社と業務提携を結び、情報サービス技術や顧客基盤など、両社の強みを組み合わせた事業開発に取り組んでいます。

そのほか、効率的な生産システムを構築し、品質向上とコスト競争力の強化を図る「全体最適活動」も推進してきました。

これらの活動の結果、第119期の連結業績は売上高は1兆4,466億円(前期比4.0%減)、営業利益は357億円(前期比5.2%増)、経常利益は403億円(前期比9.4%

増)、当期純利益は192億円(前期は163億円の純損失)となりました。

なお、当期の配当金につきましては、期末配当金を1株当たり16円とし、中間配当金(1株当たり16円)とあわせて、前期と同額の32円とさせていただきます。

❖ 社会の発展に貢献し続けることが DNPの企業価値

私たちDNPは、経営理念に「21世紀の創発的な社会に貢献する」と掲げています。社会の変化の規模が大きくなり、そのスピードが速まるなか、さまざまな課題が生じてきています。私たちは、これらの課題を解決することが社会の発展に貢献することであり、そして、それが企業価値を高めていくことにつながると考え、行動しています。

そしてDNPはいま、「未来のあたりまえを作る。」というキャッチフレーズのもとで、成長に向けた取り組みを推進しています。

「未来のあたりまえ」とは、企業や生活者、社会の課題を解決する新しい製品やサービスを開発して、それらが常に身の周りにあるようにしていくということです。現在私たちが“あたりまえ”だと感じていることも、過去に誰かが夢に描き、その実現に向けて取り組んだ成果といえるでしょう。DNPは未来に向かって、当然のように身近に存在し、意識しなくてもその恵みを楽しむことができる、そんな無くてはならない“あたりまえ”を作り続けていきたいと思っています。

具体的には、「情報流通」「健康・医療」「環境・エネル

ギー」「快適な暮らし」の4つのテーマを掲げ、それぞれの分野について積極的な事業活動を推進しています。

❖ 責任を果たすことで信頼される企業に

私たちは、社会の発展に貢献する企業として、また株主の皆様をはじめ、あらゆるステークホルダーから信頼していただける企業として存在し続けることを何よりも大切にしています。一般的に「企業の社会的責任」と訳されるCSRですが、DNPはCSRを「社会から信頼される企業になること」と定義しています。

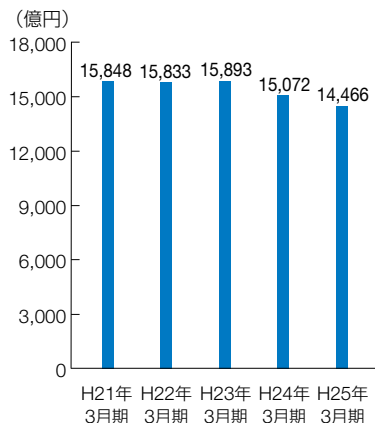
私たちは、①価値の創造：社会に対して価値を提供する ②誠実な行動：価値創造のプロセスを公正・公平に遂行する ③高い透明性：説明責任を果たし、透明性の高い企業になるという「3つの責任」をよく認識し、私たちに寄せられる期待の一つひとつ丁寧に応えていくことで、信頼を高めていくよう努めていきます。

なお、CSRに関するDNPの取り組みをまとめた最新の「CSR報告書」が、この6月に完成しました。ウェブサイトにも掲載していますので、ぜひご覧ください。(URL: <http://www.dnp.co.jp/csr/index02.html>)

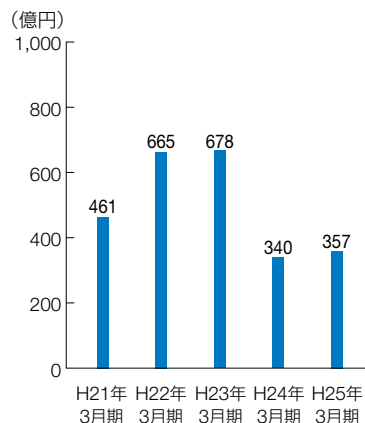
株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご指導とお力添えを賜りますよう、お願い申し上げます。

データハイライト

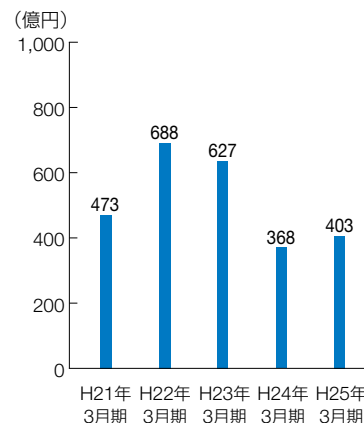
● 連結売上高



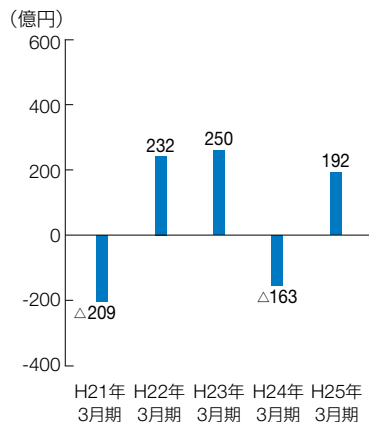
● 連結営業利益



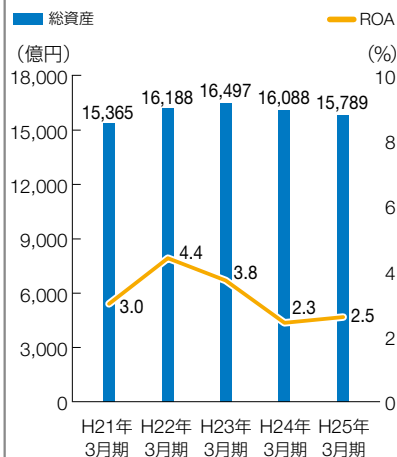
● 連結経常利益



● 連結当期純利益

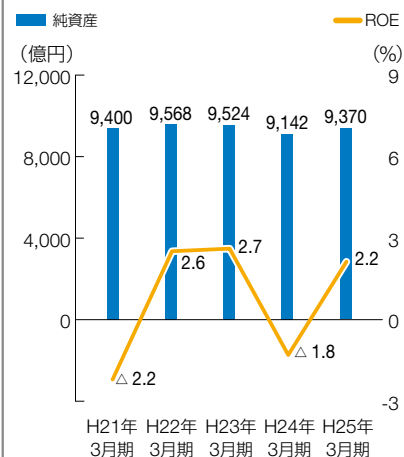


● 総資産/ROA



※ROAは、経常利益をベースに算出しています。

● 純資産/ROE



※ROEは、純利益をベースに算出しています。

連結財務諸表 (平成25年3月期)

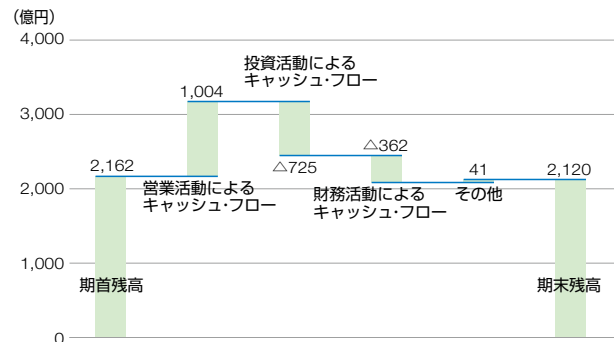
連結貸借対照表(要約)

(単位:百万円)

| 科目 | 当連結会計年度 | 前連結会計年度 |
|--------------|------------------|------------------|
| 資産の部 | 1,578,976 | 1,608,806 |
| 流動資産 | 751,150 | 782,956 |
| 固定資産 | 827,825 | 824,959 |
| 繰延資産 | — | 889 |
| 負債の部 | 641,920 | 694,593 |
| 流動負債 | 457,784 | 443,179 |
| 固定負債 | 184,135 | 251,413 |
| 純資産の部 | 937,055 | 914,213 |
| 株主資本 | 887,193 | 888,649 |
| その他の包括利益累計額 | 5,930 | △17,420 |
| 新株予約権 | 16 | 16 |
| 少数株主持分 | 43,915 | 42,967 |

連結キャッシュ・フロー(要約)

現金及び現金同等物の推移(平成24年4月1日から平成25年3月31日まで)



連結損益計算書(要約)

(単位:百万円)

| 科目 | 当連結会計年度 | 前連結会計年度 |
|------------------------------------|------------------|------------------|
| 売上高 | 1,446,607 | 1,507,227 |
| 売上原価 | 1,186,557 | 1,246,878 |
| 販売費及び一般管理費 | 224,269 | 226,334 |
| 営業利益 | 35,779 | 34,015 |
| 営業外収益 | 14,833 | 11,024 |
| 営業外費用 | 10,295 | 8,195 |
| 経常利益 | 40,318 | 36,843 |
| 特別利益 | 10,187 | 2,379 |
| 特別損失 | 15,353 | 36,550 |
| 法人税等合計 | 16,765 | 19,511 |
| 少数株主損益調整前 当期純利益(純損失(△)) | 18,386 | △16,838 |
| 少数株主損失(△) | △831 | △482 |
| 当期純利益(純損失(△)) | 19,217 | △16,356 |

連結包括利益計算書(要約)

(単位:百万円)

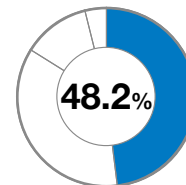
| 科目 | 当連結会計年度 | 前連結会計年度 |
|----------------------------|---------------|----------------|
| 少数株主損益調整前 当期純利益(純損失(△)) | 18,386 | △16,838 |
| その他の包括利益 | 23,735 | △501 |
| 包括利益 | 42,121 | △17,340 |
| (内訳)親会社株主に係る包括利益 | 42,568 | △16,596 |
| 少数株主に係る包括利益 | △446 | △744 |

部門別営業報告

情報コミュニケーション部門

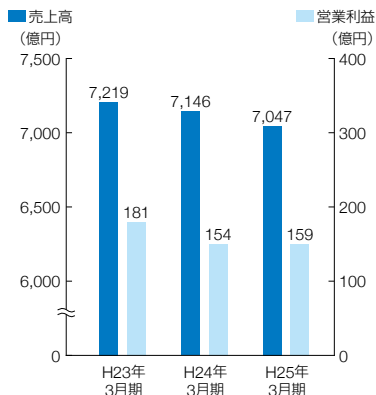
Information Communication

売上高構成比



売上高 7,047億円 (前期比 1.4%減)

営業利益 159億円 (前期比 2.9%増)



出版印刷関連は、出版市場の低迷が続くなか、積極的な営業活動により書籍は増加したものの、雑誌が減少し、前年を下回りました。商業印刷関連は、キャンペーン事務局やカスタマーセンターなどのサービスや、店頭販促用のPOPなどが増加しましたが、チラシ、パンフレット、カタログなどの印刷物が減少し、前年を下回りました。ビジネスフォーム関連は、通信系や電子マネー向けのICカードなどが増加し、パーソナルメールなどのデータ入力から印刷・発送までの業務を行うIPS (Information Processing Services) などが減少したため、前年を下回りました。教育・出版流通事業は、電子書籍市場での販売を強化したものの、紙の書籍の販売は引き続き厳しい状況にあり、前年を下回りました。

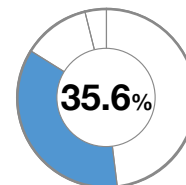


hontoポイントカード

生活・産業部門

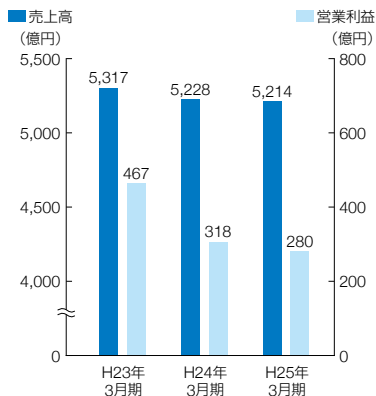
Lifestyle and Industrial Supplies

売上高構成比



売上高 5,214億円 (前期比 0.3%減)

営業利益 280億円 (前期比 12.0%減)



包装関連は、紙器や軟包装材、ペットボトル用無菌充填システムなどが増加し、前年を上回りました。住空間マテリアル関連は、国内の住宅市場が緩やかに回復しており、DNP独自のEB (Electron Beam) コーティング技術を活かした環境配慮製品などが引き続き堅調に推移し、前年を上回りました。産業資材関連は、リチウムイオン電池用ソフトパックや太陽電池用封止材などのエネルギー関連部材が増加しましたが、薄型ディスプレイ用反射防止フィルムなどが減少し、前年を下回りました。

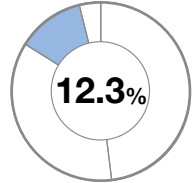


ペットボトル用無菌充填システム

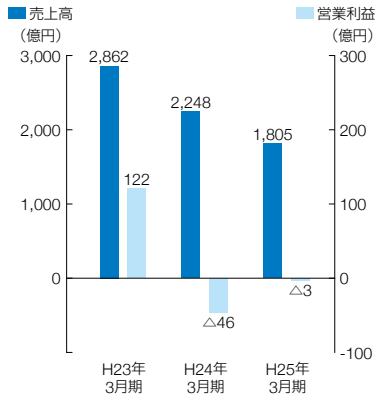
エレクトロニクス部門

Electronics

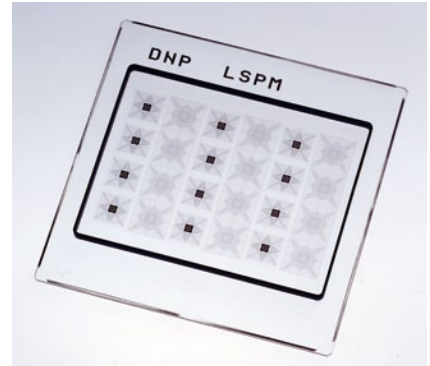
売上高構成比



| | |
|------|--------------------|
| 売上高 | 1,805億円（前期比19.7%減） |
| 営業損失 | 3億円（前期は46億円の営業損失） |



液晶カラーフィルターは、スマートフォンやタブレット端末向けの中小型品の取り込みに努めましたが、世界的な液晶パネル需要の減少と、平成24年8月の堺工場の事業移管にともなう売上高の減少もあり、前年を下回りました。電子デバイス関連は、半導体市場の厳しい状況が続いており、フォトマスクのほか、ハードディスク用サスペンションなどのエッチング製品も減少し、前年を下回りました。

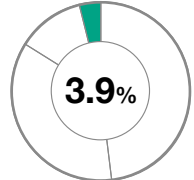


ラージスケールフォトマスク

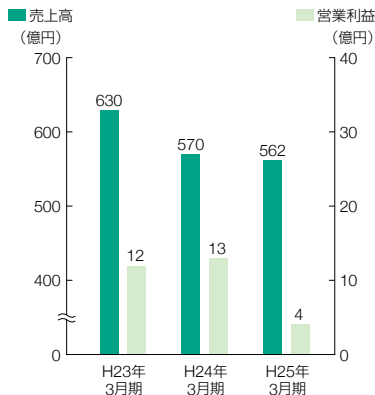
清涼飲料部門

Beverages

売上高構成比



| | |
|------|------------------|
| 売上高 | 562億円（前期比 1.4%減） |
| 営業利益 | 4億円（前期比64.7%減） |



個人消費が低調に推移し、販売競争が激化する厳しい状況のなかで、主力商品の「コカ・コーラ」「ジョージア」のほか、軽量ペットボトル「ecoる ボトルしぼる」を使ったミネラルウォーター「い・ろ・は・す」の販売拡大に努めました。その結果、ミネラルウォーター、ティー飲料は増加しましたが、炭酸飲料が減少しました。



清涼飲料

当期の主な取り組み

● ハイブリッド型総合書店「honto」がサービス開始

2012年6月、丸善・ジュンク堂書店・文教堂などのリアル書店とネット通販、電子書店の3つの販売形態に対応したハイブリッド型総合書店「honto」のサービスを開始しました。共通のポイントサービスやレコメンド情報サービスを提供するほか、生活者が望むコンテンツを、最適な時に・最適な場で・最適なメディアで提供するサービスなどを強化します。



honto: トップページ

● 情報ソリューション事業部発足

2012年10月、商業印刷、ICカード、セキュリティソリューションなどを担当する3事業部を統合し、情報ソリューション事業部が発足しました。それぞれの強みを合わせて、顧客の課題解決につながるソリューションの開発を進めてい

きます。また、業務提携先の日本ユニシス株式会社との連携を活かして、クラウド環境を活用した情報サービスを推進し、企業の基幹システムと連動したソリューションの開発・提供などで事業拡大を図っていきます。

● コミュニケーションプラザ ドットDNP開設

2013年1月、DNP市谷田町ビル(東京都新宿区)のB1～2Fにコミュニケーションプラザ ドットDNPを開設しました。DNPの多彩な製品やサービスをより多くの方々に知っていただくと同時に、B to C(生活者向け)事業の拡大に向け、電子書籍の試し読みやフォトブックの作成などが体験できる、生活者との接点の場として活かしていきます。



DNP市谷田町ビル外観(提供:川澄・小林研二写真事務所)

株式会社DNPフォトルシオ

DNPの豊富な技術と印刷のノウハウを活かし、新しい写真の世界を提案

DNPフォトルシオは2008年に、フォト事業関連のグループ企業3社(株式会社DNPアイディーイメージング、株式会社DNPフォトマーケティング、株式会社DNPプリントラッシュ)が統合し、フォトに関連する商品やサービスを幅広く企業や生活者に提供する会社として誕生しました。

昇華型プリンターを内蔵したセルフ型プリント機“Print Rush”(プリントラッシュ)を約3,000台、証明写真機“Ki-Re-i”(キレイ)を約7,000台全国に展開し、それぞれ日本国内トップクラスのシェアを誇ります。また、フォトフレーム、記録メディア等の一般生活者用の商品やプロフェッショナル用デジタルカメラなど、様々なフォト関連商品を取り扱っています。

スマートフォンやクラウド型インターネットサービスの普及など“フォトイメージング”を取り巻く環境は刻々と変化しています。その中でDNPフォトルシオは、DNPグループの保有する材料、システムに関する技術・ノウハウを活用し、生活者に新しい商品・サービスを提供していきます。



DNPフォトルシオ本社ビル



プリントラッシュ



本社ビル内ショールーム

会社概要

名称：株式会社DNPフォトルシオ
所在地：東京都中野区弥生町3-35-13
設立：2008年
資本金：4億5千万円

インターネットと店頭で手軽にフォトブックを作ることができます。

ウェブサイトで注文できる

DreamPages



ウェブサイトの作成画面



ウェブサイトで、フォトブックの編集・注文が簡単にできる「ドリームページ」

DNPが生活者に提供しているフォトブック作成サービス「ドリームページ」は、ウェブサイトで、本のような装丁のフォトブックやフォトアルバムを気軽に編集・注文できる便利なサービスです。デジタル写真データを、あらかじめ各ページに設定されたフレームに配置し、お好みの文章やコメントを簡単に入力していただくだけで、世界で1冊のオリジナルのフォトブックを作ることができます。完成したフォトブックは1冊から、指定の住所へ直接配送しています。

「ドリームページ」は<印刷のプロがつくるフォトブック>をモットーに、印刷、加工、製本はもとより、編集アプリケーションの開発、ウェブサイトの構築・運営、顧客情報の管理、配送、お問い合わせ対応に至るまで、DNPグ

ループの機能を活用して運用しています。

2013年4月には、トナー印刷タイプ商品の色数を4色から6色に増やし、書店に並ぶ書籍や写真集と同等の印刷品質で商品を提供できるようグレードアップしました。大切な写真を掲載したフォトブックを汚れやキズから守るため、全ページにニス加工を施すとともに、仕上がりに「グロス(艶あり)」と「マット(艶消し)」の2タイプを用意しました。

写真品質にこだわりを持たれている生活者のために、店頭セルフプリント機や証明写真機と同じ昇華型熱転写方式を採用したA4サイズの「フォトプレミアム」もラインアップしています。

DNPの印刷技術と情報技術が、記録を思い出に変えます。

～このような形でご利用いただいています～

<お子様の成長記録として>

フォトブックは、枚数とともにアルバムの冊数も増えがちな子どもの写真を従来のアルバムよりもスマートに収納できると好評を得ています。2～3冊の注文もできるため、祖父母の分も作成して、お孫さんの成長記録として利用されるケースも増えています。

<イベントの記念品として>

結婚式や誕生会といった大切なイベントの記録、家族や友人との楽しい旅行やパーティの記録など、喜びを共有するためのアイテムとして利用が広がっています。

<趣味の作品集として>

風景や人物の写真集、手芸や絵画などの作品集としても多くの方々に利用されています。文章を中心とした自費出版的な文芸作品の作成も増えています。

サービスの詳細はウェブサイトでご覧いただけます。
ウェブサイトURL <http://dreampages.jp>



高精細なプリントを施した「フォトプレミアム」

店頭ですぐに作れる



❖ 10ページのフォトブックが最短5分で完成するセルフ型フォトブック作製機

「PrintRush PhotoBook」は、デジタルカメラなどで撮影した画像から簡単にオリジナルのフォトブックが作れるセルフ型フォトブック作製機です。2010年2月から首都圏を中心にカメラ量販店や家電量販店、写真専門店などに展開しています。昇華型熱転写方式の特長を活かし、なめらかな色の階調を再現し、高い光沢感のある仕上がりで高品質なプリントを提供します。10ページのフォトブックを作製する場合は最短5分で、持ち運びが楽なA5サイズで仕上がります。2013年夏からはスマートフォンやタブレット端末などから直接転送した画像データを受信できる機能を搭載するなど、より手軽に作製できるようサービスを拡充しています。



表紙選択画面



❖ [2013年2月1日～9月1日開催] 『ルーヴル - DNP ミュージアムラボ』第10回展 「古代ギリシアの名作をめぐる——人 神々 英雄」 開催中

DNPとフランスのルーヴル美術館の共同プロジェクト『ルーヴル - DNPミュージアムラボ』は、第10回展「古代ギリシアの名作をめぐる」を、DNP五反田ビル(東京都品川区)体験スペースにて開催しています。ルーヴル美術館所蔵の古代ギリシア美術4作品を展示。また、会場の各所にDNPが開発した鑑賞システムを配置し、楽しみながら古代ギリシア美術を理解できる体験型の展覧会となっています。

ミュージアムラボは、映像やITを活用した美術品の

新しい鑑賞方法の開発を目指し、2006年にスタートしました。DNPが新たに開発し、展覧会で運用した多様な鑑賞システムは順次パリのルーヴル美術館に導入されています。

この第10回展でプロジェクトの第2期が終了します。2014年に始まる第3期では、これまでも実践してきた学校での鑑賞ワークショップの取り組みを発展させるなど、活動の幅を広げ、美術館という枠にとどまらない、人と美術の新しい関係を追求していきます。



鑑賞システム【シュンポジオンへようこそ】



ギリシア陶器の名品《アンタイオスのクラテル》



展示室

開催概要

- 会場 : 東京都品川区西五反田3-5-20 DNP五反田ビル1F
 - 会期 : 2013年2月1日(金)～9月1日(日)
 - 開館時間: 金: 18:00～21:00、土・日: 10:00～18:00
 - 休館日: 金曜日が祝日の場合、保守点検日、展示替え期間、年末年始は休館
 - 観覧料: 無料
- 【完全予約制です】お手続きはウェブサイト(<http://museumlab.jp>)より行うことができます。

❏ [2013年3月28日発表]

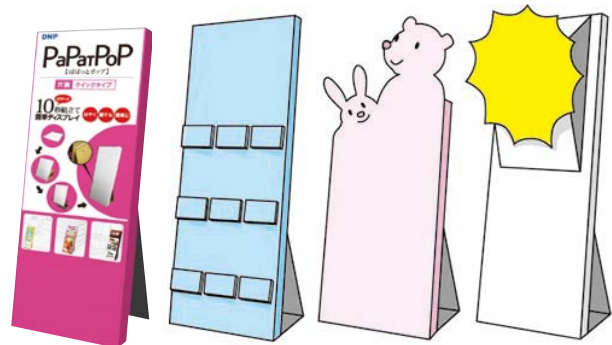
10秒で組み立て完了!! POPツール『PaPaTPoP™ (ぱぱっとポップ)』のラインアップを拡充

DNPのグループ会社で、店頭での販促ツールや広告宣伝物などを制作している株式会社DNPエス・ピー・テックは、10秒程度で簡単に組み立てられるPOP(店頭広告)ツール『PaPaTPoP』のラインアップにワンタッチ式の「フロアスタンド片面タイプ」を追加しました。

PaPaTPoPは、省スペースで簡単に組み立てられるPOPツールに対する需要の高まりに応え、DNPエス・ピー・テックが2011年に開発したものです。什器の台座とポスターを貼り付けたパネルなどのパーツが一体となった構造で、店頭でのスピーディな組み立て・設置が可能です。

今回発売した「フロアスタンド片面タイプ」は、ゴムの力を利用してワンタッチで組み立てる構造で、2つに折

れたパネルを広げるだけで完成します。PaPaTPoPのラインアップ拡充により、さらに多様な店頭販促への対応が可能となりました。



PaPaTPoP
フロアスタンド片面タイプ

ホルダー
タイプ

カットアウト
タイプ

ポップアップ
タイプ

❏ [2013年4月]

「未来のあたりまえを作る。」ウェブサイト オープン

DNPは、「未来のあたりまえを作る。」というキャッチフレーズのもとで、成長に向けた取り組みを推進しています。このウェブサイトでは、「たのしい」「うれしい」「やさしい」「おいしい」「あんしん」という視点で、DNPの取り組みを分かりやすく紹介しています。

<http://www.dnp.co.jp/mirai/>



トップページ



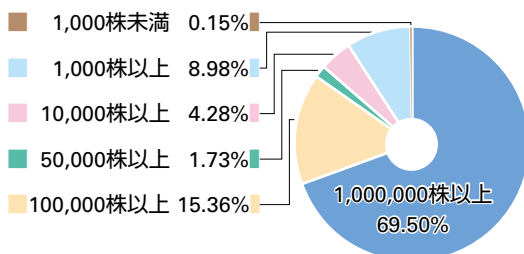
本文ページ

株式の状況

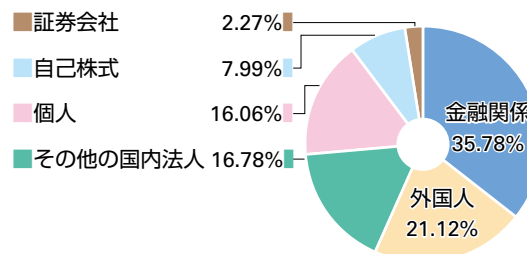
発行済株式総数
700,480,693株
(自己株式
55,942,953株を含む)

株主数
39,526人

所有数別分布状況



所有者別分布状況

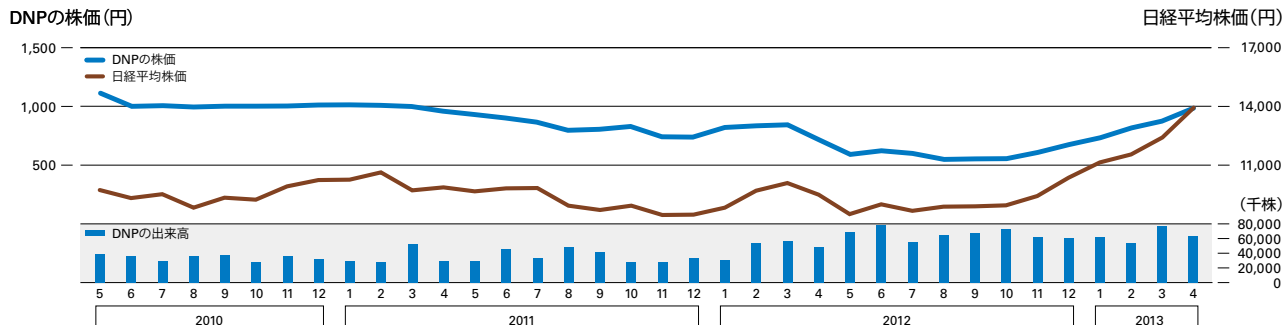


大株主(上位10名)

| 株主名 | 持株数(千株) | 持株比率(%) |
|--|---------|---------|
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口) | 41,081 | 6.37 |
| 第一生命保険株式会社 | 30,882 | 4.79 |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口) | 30,085 | 4.67 |
| 株式会社みずほコーポレート銀行 | 15,242 | 2.36 |
| 自社従業員持株会 | 15,157 | 2.35 |
| SSBT OD05 OMNIBUS ACCOUNT-TREATY CLIENTS | 12,599 | 1.95 |
| 株式会社みずほ銀行 | 12,471 | 1.93 |
| 日本生命保険相互会社 | 10,762 | 1.67 |
| ザバンク オブ ニューヨーク メロン アズ デポジタリ バンク フォー デポジタリ レシート ホルダーズ | 10,487 | 1.63 |
| ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー 505225 | 8,491 | 1.32 |

(注) 1. 持株比率は、発行済株式総数から自己株式を控除した株式数(644,537,740株)を基準に算出しております。
2. 自己株式は、上記大株主からは除外しております。

株価 / 出来高の推移



会社概要

商号：大日本印刷株式会社
 英文社名：Dai Nippon Printing Co., Ltd.
 本社所在地：東京都新宿区市谷加賀町一丁目1番1号
 電話：03(3266)2111 ダイヤルイン案内台
 URL：http://www.dnp.co.jp/
 創業：明治9年(1876年)10月9日
 設立年月日：明治27年(1894年)1月19日
 資本金：1,144億6,476万円



表紙：フォトブック

CONTENTS

| | | | |
|--------------|---|------------|----|
| 株主の皆様へ | 2 | DNPグループ紹介① | 9 |
| 第119期 決算のご報告 | | フォーカスDNP | 10 |
| データハイライト | 4 | ピックアップニュース | 12 |
| 連結財務諸表 | 5 | 株式情報 | 14 |
| 部門別営業報告 | 6 | 会社情報 | 15 |
| 当期の主な取り組み | 8 | | |

※当株主通信は、DNPの事業ビジョンや業績に関する情報の提供を目的としています。記載された意見および予測は、作成時点でのDNPの判断に基づいたもので、これらの情報の完全性を保証するものではありません。
 ※記載されている会社名、製品名は、それぞれの会社の登録商標または商標です。

取締役および監査役

| | | | |
|----------|-------|-------|---------|
| 代表取締役社長 | 北島 義俊 | 常務取締役 | 壘田 栄 |
| 代表取締役副社長 | 高波 光一 | 常務取締役 | 山崎富士雄 |
| 代表取締役副社長 | 山田 雅義 | 常務取締役 | 神田 徳次 |
| 代表取締役副社長 | 北島 義斉 | 常務取締役 | 斎藤 隆 |
| 専務取締役 | 波木井光彦 | 取締役 | 井上 覚 |
| 専務取締役 | 土田 修 | 取締役 | 塚田 忠夫※1 |
| 専務取締役 | 吉野 晃臣 | 常勤監査役 | 野口 賢治 |
| 専務取締役 | 黒田雄次郎 | 常勤監査役 | 米田 稔 |
| 専務取締役 | 和田 正彦 | 常勤監査役 | 池田 眞一※2 |
| 常務取締役 | 森野 鉄治 | 監査役 | 松浦 恂※2 |
| 常務取締役 | 秋重 邦和 | 監査役 | 野村 晋右※2 |
| 常務取締役 | 北島 元治 | | |
| 常務取締役 | 清水 孝夫 | | |
| 常務取締役 | 塚田 正樹 | | |

※1.取締役 塚田忠夫は、「社外取締役」です。
 ※2.常勤監査役 池田眞一、監査役 松浦 恂 および野村晋右は、「社外監査役」です。

常務役員

| | | | |
|-------|-------|-------|-------|
| 西村 達也 | 古谷 滋海 | 小池 正人 | 村本 守弘 |
| 小楨 達男 | 峯村 隆二 | 山口 正登 | |

役員

| | | |
|--------|-------|-------|
| 宮 健司 | 中川 清貴 | 小林 修一 |
| 杉本 登志樹 | 杉本 尚彦 | |

| | |
|-----------------|--|
| 事業年度 | 毎年4月1日から翌年3月31日まで |
| 定時株主総会開催時期 | 6月 |
| 上記総会における議決権の基準日 | 3月31日 その他必要のある場合は、取締役会の決議によりあらかじめ公告して設定します。 |
| 剰余金の配当基準日 | 期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日 |
| 株主名簿管理人 | 東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部 |
| 上場証券取引所 | 東京証券取引所 |
| 公告方法 | 電子公告により行います。(当社のウェブサイト http://www.dnp.co.jp/ir/) ただし、事故その他やむを得ない理由によって電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。 |

株式事務に関するご案内

1. 住所変更、配当金受取方法の変更等のお問い合わせ先、お手続き窓口

- 一般口座(証券会社の口座)にある株式
株主様が口座を開設されている証券会社の本支店
- 特別口座(みずほ信託銀行の口座)にある株式
(お問い合わせ先) みずほ信託銀行 証券代行部 〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く 9:00~17:00)
(お手続き窓口) みずほ信託銀行 本店および全国各支店(トラストラウンジを除く)
みずほ証券 本店、全国各支店および営業所
プラネットブース(みずほ銀行内の店舗)

2. 未払配当金のお支払窓口(払渡し期間経過後の配当金領収証によるお受け取り)

- (お支払窓口) みずほ信託銀行 本店および全国各支店
みずほ銀行 本店および全国各支店
- (取次所) みずほ証券 本店、全国各支店および営業所
プラネットブース(みずほ銀行内の店舗)

※ 単元未満株式に関するお知らせ

1,000株に満たない株式(単元未満株式)を所有されている株主様が、当社に対しその単元未満株式と合わせて1単元(1,000株)になる数の株式を買増請求できる「単元未満株式の買増制度」を導入しております。また、単元未満株式の買取請求につきましても、お取り扱いしております。

- DNP Report に関するお問い合わせ先

大日本印刷株式会社 広報室 〒162-8001 東京都新宿区市谷加賀町一丁目1番1号
TEL: 03-3266-2111 (ダイヤルイン案内台)



グリーン電力を導入しました(年間115万kWh)。この報告書を印刷する際の電力(500kWh)は、自然エネルギーでまかなわれています。



この印刷物は、NPO法人カラーユニバーサルデザイン機構により色覚の個人差を問わず、多くの方に見やすく配慮されたデザイン(カラーユニバーサルデザイン)として認証されました。